

南郷里小学校「家庭学習の手引き」



学びつつづける子

—「心豊かで独り立ちできるたくましい子」を求めて—



南 郷 里 小 学 校
南 郷 里 小 P T A
南郷里小学校学校運営協議会



目 次

「学びつづける子」刊行にあたって	P1
「1・2年生」（低学年）の家庭学習	P2 ～ P3
「3・4年生」（中学年）の家庭学習	P4 ～ P5
「5・6年生」（高学年）の家庭学習	P6 ～ P7



～「学びつづける子」刊行にあたって～

「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、家庭での関わり方によって、その育ち方は大きく変わります。家庭と学校とが協力し合って子どもの「学ぶ力」を育てるためこの冊子「学びつづける子」を作りました。

学校教育目標

「心豊かで独り立ちできるたくましい子の育成」

家 庭



* 毎日決まった時間の学習を
* 早寝・早起き・朝ご飯
* あいさつをしっかりと

学 校



協力

* 生活のリズムを整える。
* 集団生活に必要な協調心と自立心を育てる。
* 認め、励まし、対話のある温かいふれあいを大切に、いじめ等を許さない心情を育てる。

* 基礎学力を付ける。
* 学び方を教える。
* 知・徳・体に関わる人格の形成を目指していく

家庭学習は、習慣化することが何より大切です。そのために、下記の10の項目についてご家庭で、ご確認ください。



- ①毎日の繰り返しと継続して学習する習慣化が大切です。
- ②テレビは切るなど、静かな環境づくりにつとめます。
- ③「勉強しなさい！」等の命令口調より、やる気が出る言葉がけを！
- ④そばにいて見守る気持ちが大切。子どもの様子を見て「がんばったね」の声かけを！
- ⑤わからないことは「明日先生に聞いてごらん」等の必要に応じた手助けをお願いします。
- ⑥根気が続かないときは、ちょっと一休み。気分転換も大切です。
- ⑦宿題以外の学習にも、チャレンジ。本人のやる気がまず大切です。
- ⑧読書は学力の土台とも言われています。興味のある本を探しましょう。
- ⑨正しい姿勢と正しい鉛筆の持ち方が学習の基本。ぜひ身につけましょう。
- ⑩週に1回は学用品の点検をお願いします。特に記名もれがない確認しましょう。

1・2年生

学習時間のめやす

1年生 15分間

2年生 25分間

基本的な生活習慣と学習習慣を身につけましょう

1・2年生
という時期



- 「早寝・早起き・朝ごはん」「朝の排便」「元気なあいさつ」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣が身に付くと、学習の習慣も同時に身に付く大切な時期です。
- 「やったね」「よくできたね」というまわりの「ほめ言葉」が、すばらしい意欲を生み出します。
- 学習内容や方法は、子どもの意欲が高まるように、親子で相談しながら決めましょう。

学校での学習



- ◆「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まり、先生の話をしっかり聞いて学習します。
- ◆生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- ◆繰り返し練習することで、身につく学習内容がたくさんあります。
- ◆「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「整理整頓をする」など基本的な学習習慣を身につけます。
- ◆長浜市ではコミュニケーション能力の育成や国際理解などを目的として1年生から英語科に取り組んでいます。

1年生 宿題のねらい

- ① 学校での学習を家庭でも反復練習することにより学力の定着を目指します。
- ② 内容は基礎基本的なものです。国語や算数に関するものがほとんどです。
- ③ ぜひ身につけてほしい内容ばかりですので、家庭での見取りも必要です。
- ④ 毎日ほぼ同じ量になるよう考えています。

2年生 宿題のねらい

- ① 学校での学習を家庭でも反復練習することにより学力の定着を目指します。
- ② 内容は基礎基本的なものです。国語や算数が中心ですが生活科の課題も出ます。
- ③ 九九の学習等、ぜひ身につけてほしい内容ばかりです。家庭での見取りが必要です。
- ④ 6校時の時は、負担が軽くなるような配慮をしています。

家庭での学習



- まずは、勉強する場所の整理整頓をします。
- 学校からの連絡やお便りなどの確認をします。
- 子どもの持ち物や明日の準備物の確認をします。

※チェック欄で時々チェック。

宿題



- はじめに、宿題からやらせましょう。
- 全部できるようになれば大丈夫！
宿題をやり終える子どもにしましょう。
- 家族のアドバイスが必要です。
認め励まし、その上でアドバイスを！

国語



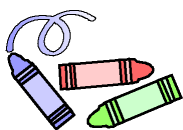
- 楽しみながら、すらすら読めるように毎日練習しましょう。
- 句読点に気を付けて、大きな声ではっきり読めるようにしましょう。
- ひらがなや漢字の書き順に気を付け、丁寧にゆっくり書きましょう。
- 子どもにあった本をまわりにおきましょう。
読み聞かせをするのもいいです。

算数



- 楽しみながら計算に慣れるようにしましょう。正しくできるようになったら、少しずつスピードを上げて練習しましょう。
- 正しい計算手順が確実に身に付くように、ときには、手順を説明しながら練習しましょう。
- まちがった問題は、必ずもう一度やり直す習慣を付けましょう。

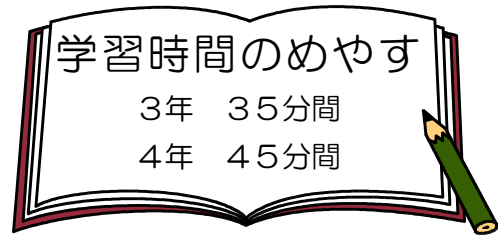
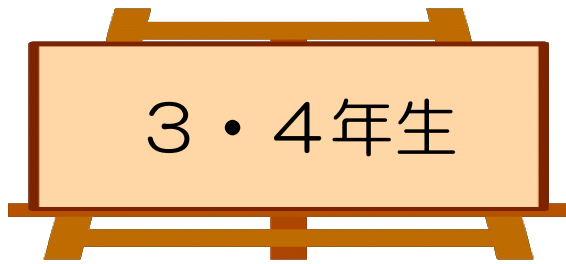
そのほか



- 進んで読書を読みましょう。
- 楽しかったことやうれしかったことを自分の言葉で絵日記や日記に書きましょう。
- 鉄棒やなわとびの練習をしましょう。
- 物づくりや自然体験活動など、家族でふれ合う時間をもうけましょう。

ワンポイントアドバイス

- ◇子どもは、親のうしろ姿を見て育ちます。大人がお手本になるような姿を見せましょう。
- ◇子どもに合った仕事を決め、継続してできるよう応援しましょう。
- ◇ほめることは大切な教育です。
- ◇徒歩で登下校することをあたりまえにしていきましょう。



自ら進んで実行する生活習慣や学習習慣を身に付けよう

3・4年生
という時期



- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。
- 好奇心が旺盛で、行動範囲が広がります。
- みんなで行動することを好むとともに、自己主張が少しずつ見られるようになります。

学校での学習



- ◆ 3年生から、社会や理科、総合的な学習の時間などの学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- ◆ 3年生では、リコーダーや毛筆、ローマ字など、教科の中でも新しい学習が始まります。
- ◆ 国語辞典や漢字辞典(3年生)、地図帳(4年生)などの使い方を学び、自分で調べ学習をすることが多くなります。
- ◆ 新しい漢字をたくさん習います。3・4年生とも200字程度。この時期が一番多く新しい漢字を習います。
- ◆ 3年生では、四則計算(+、-、×、÷)の基礎・基本を学ぶとともに、分数や小数などの内容も学ぶようになります。
- ◆ 4年生では、計算の能力を定着させ、それを活用する能力を伸ばすような学習が大切になります。

3年生 宿題のわらい

- ① 学校での学習を家庭でも反復練習することにより学力の定着を目指します。
- ② 内容は基礎基本的なものです。国語・算数が中心ですが他教科の課題も出します。
- ③ ぜひ身につけてほしい内容ばかりですので、家庭での見取りも必要です。
- ④ 好奇心が旺盛な時期ですので、調べ学習に進んで取り組ませます。

4年生 宿題のわらい

- ① 「決まった時刻」「決まった場所」で自主的に学習に取り組む習慣を身につけます。
- ② 学校で学んだことを復習することで、学力の定着を図ります。
- ③ 社会科の調べ学習(ゴミ調べ・水道調べ等)などの取組にもご協力ください。
- ④ 自主学習にも進んで取り組むようはたらきかけています。家庭での見取りをお願いします。

家庭での学習



- 学校からの連絡やお便りなどを渡す習慣を。
- 今日の宿題や明日の予定を自分で確かめる習慣を。
- 自分で調べたり、確かめたりする意欲を大切に。

※チェック欄で時々チェック。

宿題



- 宿題がないとき(はやくできたとき)には、国語や算数の復習をするなど、課題を決めて家庭学習をしましょう。
- 子どもの宿題の内容や学習の結果を見て、お子さんの学習の様子をときどき確かめましょう。
- お子さんが「分からないから、教えて。」と言ったときには、できる限り応えてあげましょう。

国語



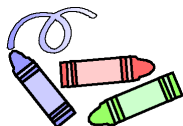
- 毎日、音読する習慣を付けましょう。内容や場面の様子がよく分かるように読みましょう。
- いろいろな本を選んで読みましょう
- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、使い方に慣れるとともに、分からない言葉や漢字を自分で調べる習慣を付けましょう。
- 学校の漢字ドリルなどを活用して、漢字を繰り返し返して書く練習をしましょう。学校の宿題とは別に、家庭用の漢字練習ノートを用意するのもよいでしょう。
- 家族で読書タイムを決めるのもよいでしょう。

算数



- かけ算やわり算などの正しい計算手順が身に付くよう、毎日練習しましょう。
- 筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
- 三角定規や分度器、コンパスなどが正確に操作できるように繰り返し練習しましょう。

そのほか



- 読書をしたり、日記を書いたりする習慣を付けましょう。
- リコーダーで習った曲の練習をしましょう。
- なわとびやマラソンで体力づくりをしましょう。
- 「なぜだろう。」「どうしてだろう。」と思ったことは、辞書や図鑑などを使って自分で調べたり、家族に相談したりしましょう。

ワンポイントアドバイス

- ◇三角定規、コンパス、分度器などの学習用具は、使いやすさを考えて用意しましょう。
- ◇社会や総合的な学習の時間の地域学習、理科の観察には協力してあげてください。
- ◇子どもが社会科等で学習してきたことを家でも実践してみましょう。
- ◇テレビ・ゲームの利用時間が長くならないよう注意しましょう。
- ◇友人関係について親子で話し合ってみましょう。

5・6年生

学習時間のめやす

5・6年 1時間

基本的な生活習慣と学習習慣を再度見直そう

5・6年生
という時期



- 夜更かし、テレビやゲーム漬けでは学習に集中できません。
- 得意な科目、好きな分野が見つかり勉強好きになるきっかけにもなります。
- 競争心も芽生える時期です。良い友人関係の中で自分を高めていきましょう。

学校での学習



- ◆委員会活動、縦割り活動などで協調性や責任感が求められます。
- ◆抽象的な言語をたくさん学びます。
- ◆5年生では、分数の通分・約分、異分母分数の足し算・引き算、分数のかけ算・わり算も学習します。
- ◆6年生では、縮図や拡大図、対称な図形を新たに学習します。
- ◆英語科では、英語で書く活動が始まります。
- ◆コンピュータ、事典、新聞などを使って、進んで調べる学習がふえます。
- ◆家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学び、裁縫や調理の実習も行います。

5年生 宿題のわらい

- ① 学校での学習を家庭でも反復練習することにより学力の定着を目指します。
- ② 内容は国語・算数を中心として理科・社会・英語等の他教科にわたって出します。
- ③ 進んで学習に取り組む力を身につけるため自主学習にも取り組みます。
- ④ めあての時間（1時間）まで集中して取り組むように家庭での見取りが必要です。

6年生 宿題のわらい

- ① 学校での学習を家庭でも反復練習することにより学力の定着を目指します。
- ② 内容は授業で習ったものです。国語・算数が中心ですが他教科の課題も出します。
- ③ 計画的に学習する力を身につけるために自主学習にも取り組みます。
- ④ 中学生に向けての準備期間です。自分で学習する習慣をしっかりと身につけられるよう家庭での見取りも必要です。

家庭での学習



- 学習プリント類はきちんと整理をさせましょう。
- 今日の宿題は何かを確かめる習慣をつけさせましょう。
- 机の上、学習用具の整理整頓をさせましょう。

※チェック欄で時々チェック。

宿題



- 分からないところは教科書やノートなどを見ながらあきらめず最後まで取り組めるよう声かけをしてください。
- 宿題がない時(はやくできた時)は、苦手な勉強の復習や明日の学習を確かめるような予習をする習慣を身につけます。

国語



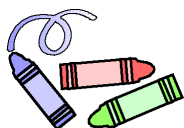
- 説明文、物語、詩、古典など多くの作品に親しむことが大切です。
- 語句や漢字の意味は辞書やドリルを使って確認する習慣を。
- 教科書の文章量も多くなります。黙読や音読であらすじをしっかりとつかませましょう。

算数



- よく間違える計算は手順や仕組みを確かめながら練習させましょう。
- 間違えた原因を早めに確認する習慣を付けさせましょう。
- 数、式、図、表などを用いて考えたり、説明したりする学習がこれからますます大切です。

そのほか



- 家族の一員としての役割をもち、責任をしっかりと果たせるよう、家の仕事を任せましょう。
- 本を読んで感想を書いたり、一日を振り返って日記を書く機会を設けましょう。

ワンポイントアドバイス

- ◇ パソコン・テレビは家族共有の場所に設置しましょう。
- ◇ 時間を決め、内容を把握しましょう。
- ◇ 有害サイトから身を守ることにに関して約束をつくりましょう。
- ◇ 携帯電話等でのメールのやりとりは、トラブルになることがよくあります。保護者の責任のもと、扱いにはくれぐれも気をつけましょう。
- ◇ 睡眠時間をしっかりとらせましょう。

南郷里っ子のやくそく

- 1 にこにこ言葉を使います。(とげとげ言葉は使いません。)
- 2 あいさつを元気にします。
- 3 そうじをがんばります。
- 4 廊下は静かに歩きます。
- 5 チャイムの合図を守ります。
- 6 朝の読書をみんなで静かに始めます。
- 7 話を聞くときは、姿勢を正し相手を見て聞きます。
- 8 さん・くんで呼び合って学習を進めます。
- 9 名札は左胸にきちんとつけます。
- 10 交通ルールを守って登下校をします。

(全校の約束です。全学級に掲示しています。)